

2019年度 第1回例会 参加者アンケート

2019年4月27日（土）

公益社団法人日本技術士会中部本部

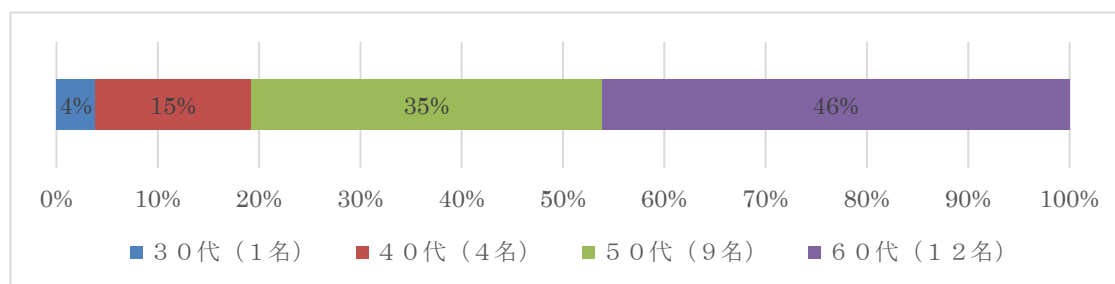
静岡県支部 CPD 委員会

[集計結果]

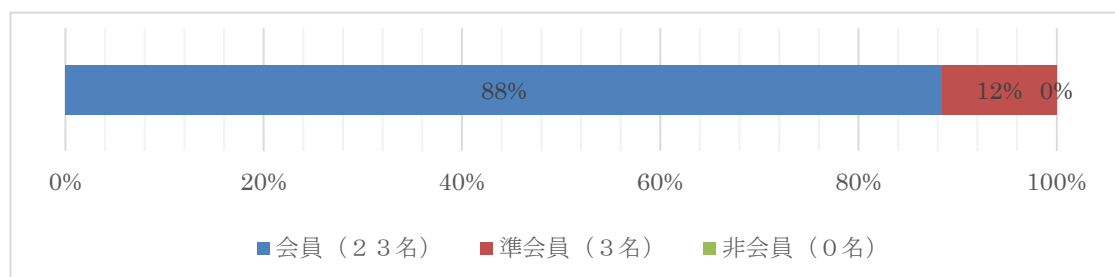
参加者数 : 26名

登録部門	延べ人数(36名：重複回答あり)
建設	9
電気・電子	7
機械	4
上下水道	1
情報工学	1
経営工学	2
応用理学	1
環境	2
金属	0
水産	0
衛生工学	0
農業	1
森林	1
総合技術監理	5
無回答	2
合計	36

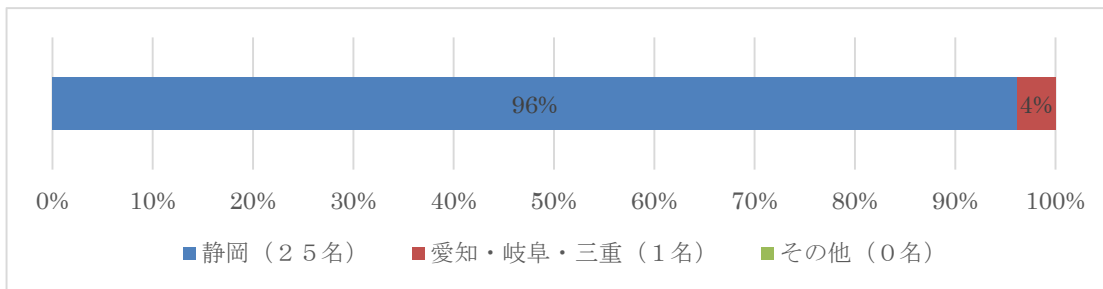
問1. 年齢をお教え願います。



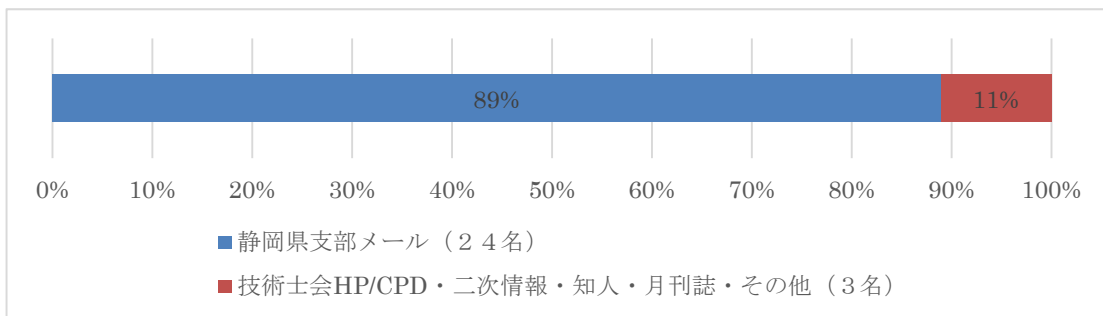
問2. 会員、非会員等についてお教え願います。



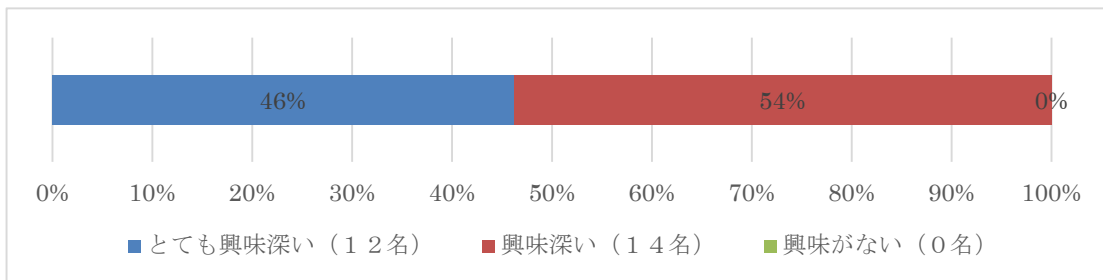
問3. どちらから参加されましたか。



問4. 今回の例会情報は、どのようにして知りましたか。

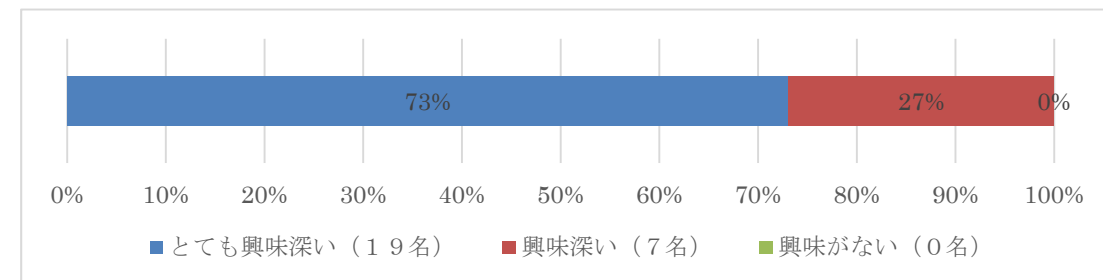


問5. (1) 講演Ⅰ「技術士として労働安全に取り組んで」について、いかがでしたか。



ご意見・ご要望など：別紙①に記載

(2) 講演Ⅱ「災害心理学ってなんなん」について、いかがでしたか。



ご意見・ご要望など：別紙②に記載

問6. 静岡県支部 CPD 委員会の活動について、今後取り組んでもらいたい講演またはご意見・ご要望などがございましたらご自由にご記入ください。

例)・講演内容・開催日時・場所などについて：別紙③に記載

＜参加者の方々から寄せられたご意見、ご感想、ご要望＞ ―別紙①―

(1) 講演Ⅰ「技術士として労働安全に取り組んで」について

機材の配置や置き方を変えることなどにより、莫大な費用を掛けたり大規模な設備を導入しなくても、労働災害を防止できることが分かりました。

機械設計者として、使用者の安全に十分留意した設計を行う必要があると思いました。

現在の業務に関係するものであり、社内で問題となっている機械安全の対応策について参考となりました。

本質安全の重要性が良く分かりました。

労働安全のISOは、特に中小企業で取り入れられるべきものと思います。

独立後の具体的な仕事を聞くことができ、参考になりました。

＜参加者の方々から寄せられたご意見、ご感想、ご要望＞ ―別紙②―

(2) 講演Ⅱ「災害心理学ってなんなん」について

災害に関する知識を悲観的・高圧的に伝えると、無力感と反発心が生ずると思いました。防災意識を減点思考で高めるよりも、「こうすれば被害を少なくできる」などのプラス思考で取り組むことが必要と思いました。

分かりやすい講演内容で、災害時において一人でも多くの人が助かることを確信しています。

今まで聞いた災害の講演とは視点が異なり、非常に興味深く聴講することができました。

リスク情報よりも、実際に行動する方策を考えることが大切であると思いました。

タイムラインの作成は役に立つと思いました。災害時の行動に参考となりました。

＜参加者の方々から寄せられたご意見、ご感想、ご要望＞ 一別紙③一

(3) 静岡県支部 CPD 委員会の活動について、今後取り組んでほしい講演またはご意見・ご要望

製造業・介護施設における IoT 技術、製造業のサービス業化への対応、倫理、電気電子分野、の講演を希望します。

現地における見学会及び学習会の開催を希望します。

講演の種目を多くするため、委員会活動を活発にすること。

講演者への依頼アプローチは、役員会に図っても良いと思います。

メーリングリストによって、情報を収集して欲しい。

例会のプログラムを早期に決定し、情報公開による参加者増に繋げていくこと。

講演会の講師に、他県技術士会の役員をお招きしたらいかがでしょうか。

研究会が発足して数年経過しています。研究成果を発表する時期ではないでしょうか。

非会員（技術士以外の一般者）に対する例会参加への呼びかけは、どの様にされていますか？

「建設系 CPD 協議会（19 団体）の HP に掲載し、参加を呼びかけています」と返信済です。

以上です。

たくさんの貴重なご意見ご要望を寄せていただきました。

本項で頂いた貴重なご意見、ご要望は今後の例会運営の参考とさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。